

「赤とんぼ」 定期テスト対策練習問題

| 年 | 組 | 番 | 名前 |
|---|---|---|----|
|---|---|---|----|

※テスト対策練習問題は解説のあとにあります。

「赤とんぼ」の基本情報

「赤とんぼ」基本データ

作詞:三木露風(みきろふう)
 作曲:山田耕作(やまだこうさく)
 拍子:4分の3拍子
 調:変ホ長調
 速度:♩=58~63
 形式:一部形式

「赤とんぼ」の歌詞

赤とんぼ

1 タやけ小やけの 赤とんぼ
 負おわれて見たのは いつの日か

 2 山の畑の 桑(くわ)の実を
 小籠(こかご)に摘(つ)んだは まぼろしか

 3 十五で姐(ねえ)やは 嫁に行き
 お里(さと)のたよりも 絶(た)えはてた

 4 タやけ小やけの 赤とんぼ
 とまっているよ 竿(さお)の先



「赤とんぼ」は、作詞者の三木露風がまだ幼いころに、自分の家に働きに来ていた子守娘におんぶされて赤とんぼを見たときのことを思い出して作ったものだよ。

「赤とんぼ」で重要なポイントはココ！

「赤とんぼ」に登場する言葉の意味

赤とんぼの歌詞には、今ではあまり使わない言葉があるよ。
それぞれがどういう意味か理解しておこう！

「負われて見た」

負われてというのは、「背負われて」ということ。つまり、おんぶされていたということだね。

「姐や」

ねえやといっても、お姉さんのことではないよ。

昔は、あまり裕福ではないおうちの女の子は、よそのおうちに子守のお手伝いとして働きに出ることがあったんだ。

そうやって子守をする女の子のことを、姐やと呼ぶんだ。

「お里のたより」

「お里」というのは、ふるさとのこと。「たより」は手紙のこと。

ここでは、子守をするために働きに出てきた女の子のふるさとのことを言っているんだよ。作詞をした三木露風の説明によると、

「姐やは大きくなって、里に帰り、しばらく手紙をくれていたが、15歳で嫁に行ってしまったので姐やからの手紙も来なくなった」ということだと考えられるよ（色んな説があるよ）。



「赤とんぼ」で使われている音楽記号について

P

読み方：ピアノ

意味：弱く

mf

読み方：メッツォフォルテ（メゾフォルテ）

意味：少し強く

<

読み方：クレッシェンド

意味：だんだん強く

>

読み方：デクレッシェンド

意味：だんだん弱く

「赤とんぼ」の過去と現在について

「赤とんぼ」は、一部形式の曲だね。

一部形式というのは、8小節の大きな曲のまとまりが1つしかないもののこと。

Aメロ・Bメロというとピンとくるかな？

一部形式は、Aメロしかないということだね。

「タやけ小やけの赤とんぼ」で4小節あって、

「負われて見たのはいつの日か」で4小節。

これで8小節の大きなカタマリになっているよ



「赤とんぼ」の調について

「赤とんぼ」は、変ホ長調の曲。

変ホ長調というのは、主音（音階の中心となる、第一音のこと）が♭ミということ。

♭ミ ファ ソ ♭ラ ♭シ ド レ ♭ミ という音階になるということだね。

♭は ミとラとシの3つにつくよ。

「赤とんぼ」の拍子について

「赤とんぼ」は4分の3拍子の曲。

これは、1小節の中に「四分音符」が3つ分入るという意味だね。

「赤とんぼ」の速度記号について

「赤とんぼ」の速度記号は ♩ = 58 ~ 63。

これは、赤とんぼを演奏（歌う）時は、四分音符が一分間に58個から63個入るようなスピードで演奏（歌う）してね。という意味。



「赤とんぼ」 まとめ

★よく出るポイント★

- 作詩は三木露風
- 作曲は山田耕作
- 調は変ホ長調
- 拍子は4分の3拍子
- 演奏速度は♩=58～63
- 形式は一部形式
- 「負われて」とは、「背負われて」ということ
- 「姐や」とは、「子守娘」のこと
- 「お里の頼り」とは、「故郷からきた手紙」のこと
- 1番の赤とんぼを見た後から、幼い頃の思い出について書かれ、4番ではまた今現在みている赤とんぼについて書かれている
- p(ピアノ)とは、「弱く」という意味
- mf(メゾフォルテ)とは、「少し強く」という意味
- <(クレッシェンド)とは、「だんだん強く」という意味
- >(デクレッシェンド)とは、「だんだん弱く」という意味



「赤とんぼ」では、定期テストにこんな問題が出る！

問1 「赤とんぼ」の作詞者を漢字で答えなさい。

問2 「赤とんぼ」の作曲者を漢字で答えなさい。

問3 この曲の速度記号を次の中から選び○でかこみなさい。

ア：♩＝58～63

イ：♩＝72～84

ウ：♩＝58～63

エ：♩＝60

問4 この曲の調を答えなさい。

問5 この曲のように、ひとつの大きなメロディーのカタマリで構成されているものを何形式と呼ぶか、答えなさい。



問6 次の「赤とんぼ」の歌詞の空欄（ア）～（コ）に入る言葉を答えなさい。

- 1 タやけ小やけの（ア）（イ）見たのは（ウ）
- 2 山の畑の（エ）（オ）詰んだは（カ）
- 3 十五で（キ）は嫁に行き お里の（ク）も（ケ）
- 4 タやけ小やけの（ア）とまっているよ（コ）

- | | |
|-----|-----|
| 【ア】 | 【イ】 |
| 【ウ】 | 【エ】 |
| 【オ】 | 【カ】 |
| 【キ】 | 【ク】 |
| 【ケ】 | 【コ】 |

問7 「赤とんぼ」の歌詞の次の①～③の言葉の意味を、選択肢ア～ケの中からそれぞれ選びなさい。

- ①「負われて」
- ②「姐や」
- ③「お里のたより」

【選択肢】

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ア：追いかけて | イ：田舎からの電話 | ウ：負けて |
| エ：お姉さん | オ：子守娘 | カ：故郷からの手紙 |
| キ：お手伝いのおばさん | ク：山からの手紙 | ケ：背負われて |

【①】

【②】

【③】



問 8 「赤とんぼ」について、最も正しく説明しているものを次の中から選び○でかきなさい。

- ア：友達と追いかけてっこをしていたときに見つけた赤とんぼについて書いている。
- イ：幼い頃みた赤とんぼの思い出だけについて書いている。
- ウ：お嫁に行ってしまった姉を寂しく思う気持ちを書いている。
- エ：赤とんぼを見たことで、幼いころの情景を思い出し、また目の前の赤とんぼを見ている現在について書いている。

問 9 この曲の調について、正しく説明しているものを次の中から選び○でかきなさい。

- ア：主音は「ミ」である。
- イ：＃が3つついている。
- ウ：主音は「レ」である。
- エ：主音は「♭ミ」である。
- オ：♭が2つついている。

問 10 この曲を演奏すべき速度について、正しく説明しているものを次の中から選び○でかきなさい。

- ア：曲全体で四分音符が58～63個入るように演奏する
- イ：曲全体で八分音符が58～63個入るように演奏する
- ウ：1分間で四分音符が58～63個入るように演奏する
- エ：1分間で八分音符が58～63個入るように演奏する

問 11 この曲の拍子について、正しく説明しているものを次の中から選び○でかきなさい。

- ア：1小節の中に八分音符が3つ分入る。
- イ：1小節の中に四分音符が3つ分入る。
- ウ：1小節の中に四分音符が4つ分入る。
- エ：1小節の中に八分音符が6つ分入る。



「赤とんぼ」定期テスト対策練習問題（解答）

問1 三木露風

問2 山田耕作

問3 ウ

問4 変ホ長調

問5 一部形式

問6 【ア】 赤とんぼ 【イ】 負われて 【ウ】 いつの日か 【エ】 桑の実を
 【オ】 小籠に 【カ】 まぼろしか 【キ】 姐や 【ク】 たより
 【ケ】 絶えはてた 【コ】 竿の先

問7 【①】 ケ 【②】 オ 【③】 カ

問8 エ

問9 エ

問10 ウ

問11 イ

